

新任教員(小学校)の紹介



「成長」

飯野小学校 大嶋 杏奈

今年度の4月から教員になりました。これまでを振り返ると、とても充実した日々を過ごしたと感じます。最初は手探りで授業や生徒指導を行い、たくさん悩みました。しかし、周りの

先生方に相談にのってもらい、助けをいただきながら「明日はこうしよう」「次回はあれをしよう」とその日の反省を生かして次のことを考えることで、実践を積み重ねることができました。毎日の学びから自分の成長を実感しました。友達と協力して活動をする子供たちの姿や課題に向かって頑張る姿を見ていると、4月の頃と比べて大きな成長を感じます。今では、今後この子供たちはどんな風に成長するのだろうと楽しみです。「学校が楽しい」と思える学級経営や学習意欲を引き出す授業づくりに今後も励み、子供たちと共に私自身も成長していきたいです。



「新たな気持ちで」

飯野小学校 林 香織

私は、昨年度まで千葉県で教員として働いていましたが、今年、地元の富山に戻ってきました。入善町に着任することになり、不安と期待でいっぱいでした。これまで数年間の教員として

の経験はありますが、入善町の子供たちはどのような子供たちなのか、これまでの経験をしっかり生かせるのか…。

出会った子供たちは、明るくエネルギー溢れる子供たちでした。着任してから8か月、子供たちと日々の授業やさまざまな行事を行ってきました。楽しいことばかりではありませんが、少しずつ成長していく子供たちの姿を見ると、やはり嬉しく思います。

まだまだ、これからたくさんのイベントがあります。子供たちが自分たちで考え、学び合いながら生活していけるよう、新たな気持ちでこれからも指導していきたいと思えます。



「学びの多い日々」

上青小学校 戸島 えりこ

採用されてから半年以上が経ちました。学校の雰囲気に徐々に慣れ、自分でできることも少しずつ増えました。しかし、まだまだ戸惑うことが多く、一日があつという間に過ぎていきます。

最近では、意識していなくても子供のよいところや素敵な姿に気付くようになってきました。困っている友達にすぐ声をかけてあげたり、友達のよいところを見て認め合ったり、このような姿を見る度にこの子供たちを大切にしたいと強く感じます。そして、子供たちのために学級づくりや授業の腕を上げたいと思います。

また、先生方からも毎日様々な場面で、支えていただいております。心強く感じるとともにありがたく思っています。これからも、感謝の気持ちを忘れず、目の前の子供たちのために向上心をもって努力を続けていきたいと思えます。



「教師になって」

入善小学校 笠原 望生

4月から教師となり、教えられる側から教える側へと自分の立場が大きく変わり、最初は戸惑うことばかりでした。教師になってからの日々は、流れるように早く感じ、気が付けばもう

2学期が終わろうとしています。この間に様々な行事や学習を行ってきましたが、まだまだ慣れないことが多く、分からないことや難しく感じることもたくさんあります。そんな中で、子供たちの笑顔や一生懸命な姿を見ると、私も「頑張らなくては」と気合が入ります。また、子供たちの素直な心にも元気付けられています。先生方には適切なアドバイスをいただき、子供たち、そして、自分に合った指導を模索しています。辛いときもありますが、1学期から2学期にかけて、自分の成長を感じています。子供たちと一緒に、より成長できるよう、新しい学びを毎日得ながら学校生活を送っていきたく思えます。



「子供と共に育つ」

入善小学校 宮田 莉那

教師になって、日々子供たちと生活していると、その関わりの中で自分が新たに成長していくと感じます。子供たちはよく「なんで、〇〇しなくちゃいけないの?」「なんで〇〇なの?」と、素朴な疑問を私に投げかけます。それに答えていくと、うまく答えられないことが出てきます。そこで初めて、子供の思考のレベルにまで及んでいなかったことに気付かされます。今まで「当たり前だから」と思って過ごしていたことでも、子供たちの疑問によって意味を捉え直すと、自分の取り組み方や考え方が変化し、子供も自分もより深く考えて行動するようになりました。子供たちは私にそのようなきっかけを与えてくれる大切な存在です。

これからも子供たちを育てるとともに、自分自身も子供たちと一緒によりよく成長していく教師であり続けたいと思えます。



「安心できる保健室を目指して」

桃李小学校 岩田 遼

教師になって8か月が経ちました。目の前の仕事に追われる毎日ですが、子供たちの元気な姿や笑顔を見ていると力が湧いてきます。

私は、保健室で子供と関わる時に、心掛けていることが二つあります。一つ目は、どんなに忙しくても笑顔で子供の話に耳を傾けることです。

二つ目は教室や保健室での様子からその子供のいいなと思ったことを伝えることです。「自分の言葉で上手に説明できたね」「大きな声で挨拶できたね」など、本当にささいなことを伝えるだけですが、うれしそうな表情を浮かべる子供が多いです。

私は、これからも子供たち一人一人を理解し、成長を願って寄り添い、だれもが安心できる保健室をつくっていきたく思えます。

センター事業報告① 【入善町カウンセリング講座】

7月29日(月)うるおい館にて、富山国際大学子ども育成学部教授 村上 満 先生に「通常級での“気になる”児童生徒の対応の在り方」と題してご講演いただきました。具体例を交えながら、「気になる」子供へのやさしい見方や関わり方、幼・保・小・中の切れ目のない支援等について大変分かりやすくご指導いただきました。特に、「教師はより多くの魅・味方をつくることにつなげる人であり、褒めて、自信をもたせて育てていくこと」「見立てと手立てが重要であり、見えていないところもしっかり“みて”アセスメントをし、プランニングしていくこと」「専門スタッフの専門性を活用しながら、連携して“チーム学校”で対応していくこと」が大切であることを教えていただき、今後の教育活動に生かしていけるご示唆を得ることができました。

参加された先生方からは、「普段何気なく話す一つ一つの言葉に責任をもって話すことの大切さを考えさせられた」「自己肯定感を高め、褒めて育てる教育の大切さを改めて実感した」など、今後の児童生徒との関わり方における指針となる意見が多く聞かれました。



センター事業報告② 【理科実験・観察訪問研修】

理科実験・観察訪問研修は、本年度から町内の小学校2校を実施校として、毎年ローテーションでの開催となりました。本年は夏季休業中に黒東小学校と入善小学校で実施しました。県総合教育センター科学情報部の研究主事の先生方を講師にお迎えして、「電気の利用」「電気を使った実験の基本操作」の研修項目について丁寧にご指導いただきました。

参加された先生方からは、「科学実験や物理実験は準備が大変だと思っているところがある。今回のように、使うものがセットで入っているのはとてもよいと思う」「たくさんの資料や分かりやすい説明、自分で作る楽しさ等、内容だけでなく授業の進め方にも役立った」などの意見が多数聞かれ、授業にすぐに役立つ大変有意義な研修となりました。



センター事業報告③ 【外国語活動研修会】



8月6日(火)に、外国語活動研修会を開催しました。東部教育事務所指導課指導主事 青山 拓也 先生を講師にお迎えし、「新学習指導要領に応じた外国語指導の在り方と効果的な小中連携」と題してご講演いただきました。授業のDVDを視聴し、教師の具体的な手立てをグループで協議したり、効果的な授業を仕組む10のポイントについて丁寧に指導したりしていただきました。その中から今後の取り組み方についての多くのご示唆を得ることができました。

参加された先生方からは、「子供の関心を把握した上で課題を設定し、対話したくなるような単元構想を工夫していくことが大切であることを学んだ」「小学校での実践例を見て、ゴールを見据えての計画性や必要な活動を的確に仕組んでいくことの重要性を感じた。中学校でも、学んだことを意識して授業を工夫していきたい」などの有意義な内容であったことが分かる意見が多く聞かれました。



センター事業報告④ 【道徳に関する講演会】



8月8日(木)に魚津地区教育センター協議会主催の「道徳に関する講演会」として、帝京大学大学院教職研究科教授 赤堀 博行 先生を講師にお迎えし、「道徳科の特質を生かした授業改善と評価」と題してご講演いただきました。赤堀先生のお話から、道徳教育の進め方や道徳科の目標が意図するところ、評価の在り方等について理解を深めるとともに、今後の道徳科を要とした道徳教育の取り組み方について多くのご示唆をいただきました。特に、「目指す子供像を明らかにすることから進めることが大切である」「教師は明確な指導観をもって授業を行い、その視点で評価をする」「よりよく生きることにつながる一人一人の学びのよいところを見付け、評価として返すこと」など、道徳で大切にしたいポイントについて事例を交えて具体的にご教示いただきました。

参加者も147名と大変多く、参加された先生方の関心の高さが伺えました。「子供たちに何を考えさせたいのかということを中心として授業を構想し、中心発問を考えればよいことが分かった」「体験的な学習を取り入れていくことが有効であることを学んだ。意識して取り組んでいきたい」などの多くの感想が寄せられました。